

自分のまちにマイパブリックを作ろう！

団体名 ●ろ〜かるらぼ / 代表者名 ●高熊莉歩(経済学部経済学科 3年)

はじめに

ろ〜かるらぼは、パーソナル屋台というコミュニケーションツールを利用しながら、多様な人々(住民や観光客等)が気軽に集い、自然体でいられるような場や情報交換ができる場づくりを実践することで、地域の賑わい創出に取り組むことを目的としています。そのために、活動テーマでもある「自分のまちにマイパブリック(公と私の結節点)を作る」を実行するべく、「住んでも訪れても楽しい」賑わいづくりに挑戦すること、また、企業・団体の方々との交渉や依頼、調整等のやり取りに挑戦し、ビジネスの場面に必要なスキルを身につけることを目標としています。

活動内容

(1)屋台の制作

まず、マイパブリックを実施していくうえで必要となるパーソナル屋台を、南砺市商工会青年部の方々の協力を得ながら制作しました。

(2)南砺市桜クリエにて第1回マイパブリック実施(8月24日)

木の枝に毛糸を巻き付けて壁などに吊るす「木の枝ガーランド作り」と、アジサイやカエデなどを使った「押し花カード作り」の2つを体験してもらうワークショップを開催しました。参加者は、富山市内から遊びに来た社会人、名古屋から旅行の途中に立ち寄ったという家族連れ、昼食後に通りがかった親子、近所にお住まいの方々などでした。参加者一人一人と楽しくコミュニケーションをとることができ、また、ワークショップも好評だったため、「コミュニケーションツールとしてのモバイル屋台」の役割を実感しました。



写真1 桜クリエでのワークショップ(8月24日)

(3)南砺市井波の瑞泉寺前にて第2回マイパブリック実施(9月22日)

2回目の活動内容として、一冊のスケッチブックにゲストの思い出をつづってもらう「みんなで作る旅集」と、物々交換をしながら様々な人と対話を楽しむ「Exchange Memories」の2つを実施しました。当日は、物々交換の相手がなかなか見つからず、心が折れそうになる場面もありましたが、それでも物々交換できる物を一生懸命探してくれた人や旅の思い出を語ってくれた人も多く、非常に嬉しかったです。それと同時に、企業での営業活動や商売の難しさを実感しました。



写真2 旅集・物々交換(9月22日)

成果、結果の考察

いずれの活動においても、南砺市の住民や観光客といった様々な方々と交流を図ることができました。イベント当日に実施したアンケートでは、体験内容の満足度や学生スタッフの対応について、皆さんから「とても満足」といった意見をいただくことができました。今年度の目標である「住んでも訪れても楽しいにぎわいづくり」と商工会・会場提供先の方々の「交渉や依頼、調整等のやり取りに挑戦し、ビジネスの場面に必要なスキルを身につけること」を達成できたと思います。

今後の課題、展望

今後の課題の1つ目は、情報発信・情報の見せ方を工夫するという点です。通りすがりの人に気軽に参加してもらえるような工夫を凝らしたポスター作りやイベント開催までの過程等の情報を積極的に発信していく必要があります。2つ目は、新規メンバーの募集活動を精力的に行うという点です。